

## 気象状況スマホで確認 ウェザーファーム設置

JA三原地域管内の果樹産地では、気象センサー「ウェザーファーム」を導入し、栽培管理に役立て



▲気象センサー「ウェザーファーム」を設置する関係者

ています。2月2日には三原市鷲浦町の園地に新たにセンサーを設置。同地域管内では尾道市瀬戸田町で2台が稼働しており、今回の設置で3台体制となりました。「ウェザーファーム」は園地の気象状況を把握するためのセンサーで、気温や湿度、降雨量など7項目を5分間隔で測定・記録します。専用アプリを通じて遠隔地でもリアルタイムで局地的な降雨や気温変化を確認できるのが特徴。適期作業に生かすことで品質向上と安定生産につながります。

## 葉付き高糖度の自然熟中晩柑 品質に自信

JAせとだ選果場で2月14日から「自然熟はるみ」、3月3日から「自然熟デコポン」の出荷が始まりました。葉付きの美しい色合いと濃厚な食味が楽しめる贈答用に人気の商品で、計8tの出荷を計



▲「自然熟はるみ」を収穫する宮本昌裕さん



▲「自然熟デコポン」を箱詰めする稲葉典文さん

画。生産者の徹底した水分・枝管理や摘果作業により例年通り高品質な仕上がりとりました。自然熟中晩柑はビニール施設で栽培し、通常より1、2か月以上樹上で熟成して収穫。収穫後は鮮度保持フィルムで1果ずつ包装し、化粧箱に詰めて出荷するこだわり商品です。

## 特産「広島わけぎ」最盛 ひな祭り需要へ品質

三原市で2月下旬、特産の「広島わけぎ」が出荷最盛期を迎え、ネギに比べて辛味が少なく、甘味のある味わいと豊かな香りが特徴。一つの球根から枝分かれしながら成長するため子孫繁栄の象徴として古くからひな祭りの行事食としても親しまれています。

JA三原地域管内では沿岸部・島しょ部を中心に明治初期から栽培が始まったとされ、現在ではJAひろしま三原わけぎ部会の33戸が3・8haで栽培しています。本年度は冬場の寒波や記録的少雨の

影響で伸長が停滞しましたが、小まめなかん水や2月中旬からの気温上昇と下旬の降雨により生育が回復。良好な品質で最盛期を迎えることができました。



▲丁寧に選果される「広島わけぎ」

## フレッシュミズ研修会 地元食材でみそ造り

JA女性部三原地区本部は2月28日、三原市の本郷生涯学習センターでフレッシュミズ研修会を開催し、みそ造り講習会を開きました。食と農に関心のある子育て世代を対象に募集し、14人が参加。講師には同市高坂町で有機農業を営むorganic farm GENTENの坂本佳余さんをお招きし、自家製の大豆や米を使ったみそ造りを体験しました。参加者は煮た大豆をつぶして米こうじや塩を混ぜ合わせるなど工程を楽しみ、容器に詰めて各自持ち帰りました。10か月前後熟成させて食べることが出来ます。

子どもと参加した保護者は「出来上がりが楽しみ。子どもにも良い経験をさせてあげることができて良かった」と話しました。



▲フレッシュミズ研修会でみそ造りを体験した参加者



## 水稲

### 代かき

代かきは土壌を細粒化することにより、漏水を防ぐと共に、有機物の分解による窒素の無機化を促進し、水稲の生育を進めます。

一方で、前作の稲わらが十分に腐熟していない状態では、土壌の還元化(酸欠)を過度に進め、水稲の生育に悪影響を及ぼす場合があります。

そのため、代かきは土壌中の酸素を残すように心掛け、作土全体を泥状にしないよう回数や深さなどを判断する必要があります。

健全な水稲の生育には、表層(最大5cm)は細かく、下層は塊状で酸素を多く含む状態が有効です。

粘土質の圃場ほど、浅く代かきするようにしましょう。

### 代かき時の基肥施用

基肥に使用する化学肥料の窒素は、

畑状態(乾燥)が長く続くと、湛水後、窒素ガスに変化するため、水稲の窒素利用率が低下します。

化学肥料を全層施肥する場合は、基肥散布後、なるべく早く耕起と湛水を行なうことが大切です。

特に、春先に土壌が乾いている状態では、基肥散布から湛水開始まで10日以上空けないよう注意しましょう。

### 代かき後の濁水流出防止

水田から代かき後の濁水が流出すると、肥料成分や分解されていない被覆肥料の殻なども共に流出することになるので、下流域の環境汚染につながります。

次の流出させないためのポイントを守り、環境負荷の低減に取り組みましょう。

- 畦畔からの漏水を防ぐため、あぜぬりの徹底やあぜシートを設置する。

- 水尻からの漏水を防ぐため、入水前に点検し、止水版をあぜより高く設置する。

- 水田からの排水を最小限にするために、入水までに田面の高低差をなくし、浅水(地面8割、水面2割)で代かきする。

## 柑橘

春先以降の気温次第で、生育進度が早まる場合があります。新芽や蕾の発生時期に注視して、適期に作業が行なえるようにしましょう。

### 葉面散布

樹勢強化を目的に発芽前は7〜10日間隔で尿素300倍を2〜3回散布し、発芽後は窒素系液肥を散布しましょう。

### 春草の除去

気温の上昇に伴い、春草の生育が旺盛になります。春肥を施用したあとに春草に養分をとられないよう、草丈が低いうちに除草しましょう。

### 品種更新

品種更新の際には、適地性を考えることが重要です。不適地では品種が本来持つ特性を発揮できないため園地条件に適合する品種を選択しましょう。

### 温州みかんの生理落花防止

8年産の温州みかんは裏年傾向で着花量は少なくなることが予想されます。新梢が多く発生し、花に日光が当たらないと生理落花が助長され

ます。長く伸長した新梢は芽かきを実施して花に日光を当ててください。



▲芽かき前



▲芽かき後

## 落葉果樹

気温の上昇とともに生育は進んでいきます。発芽や開花、病害虫の発生状況(特に、ケムシ類やアブラムシ類)を確認し、芽かきや防除など管理を進めていきましょう。

### 晩霜害について

3月の気温が高く推移した場合、発芽や開花など生育が早まる場合があります。そのような状況の中、急激な温度低下に遭遇した場合晩霜害が発生します。晩霜害は、芽や花の枯死など生育や収量に大きく影響します。対策は、防霜ファンを設置や散水法などありますが、費用や労力がかかり難しいのが現状です。

### 芽かき

落葉果樹の生育は、展葉など生育初期は貯蔵養分(前年の夏から秋の落葉までに蓄えられた養分)で賄わ

れます。そのため、貯蔵養分が有効に利用できるよう、発芽時に予め必要な場所が発生した芽を除去し無駄な養分の使用を抑えます。また、枝の混在の抑制、せん定等の作業軽減にもつながります。栽培されている落葉果樹の樹勢状況(枝の伸長や葉の大きさ)をみながら、時期や回数で判断し芽かきをおこないます(表1)。芽かきにより落とす新梢としては、枝の上面から発生した新梢や密生部分、下垂枝などを除去します。

表1 樹勢の違いによる芽かきの程度と時期の目安

樹勢	樹相	芽かきの程度と時期の目安
強い	太く長く強く伸長し、葉が大きい	枝の勢力を分散させるため、時期を遅らせる。数回にわけて徐々に減らす。
適正	ちょうど良い	1~2回で目標の新梢数にする。
弱い	細く短く伸びが悪く、葉が小さい	早めに実施し、1~2回で目標の新梢数にする。

**注意する病害虫**

**クワゴマダラヒトリ(ケムシ類)**(写真)：雑食性で新芽や花を食害する。何年かおきに大発生して問題となることもある。発生しやすい条件として、山地や山林と隣接す

る果樹園、産卵植物であるアカメガシワなどが多いと大発生の危険があるため注意する。早期発見に努め、見つけ次第捕殺する。

**アブラムシ類**：芽や葉の伸長や生育を抑制する。発生初期に防除する。

**イチジク**：そうか病、アイノキイムシ(写真・広島県立総合技術研究所農業技術センター果樹研究部提供) 体長3.5mm程度の俵型の虫。イチジクの株元を中心に直径1~2mm程度の穴を多数あけ食害し、樹勢低下を引き起こす。一部の虫がイチジクを枯らす株枯病を媒介するとされている。



**モモ**：せん孔細菌病・縮葉病(先月の写真に記載)・灰星病

**家庭菜園**

4月となり春の訪れを感じることもできるようになりました。

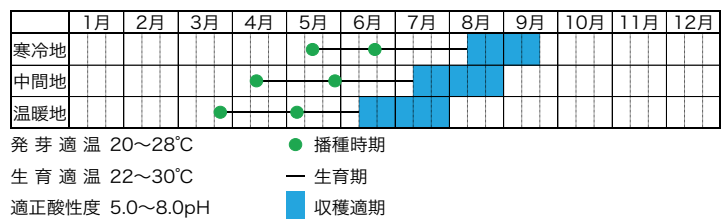
今月は、トウモロコシ栽培についてご紹介します。トウモロコシは肥料を吸収する力が強く、土壌に残った余分な養分を掃除してくれるほか、深く根を張るため、畑の水はけを改

善する効果も期待できる作物です。

**特性**

高温性作物のため、暑さに強く寒さに弱いです。日当たりと排水性の良い圃場を好み、吸肥力が非常に強く肥沃な土壌での栽培が適しています。土壌の酸性度は弱酸性から中性が適しています。

**圃場準備** 土壌の酸性度調整のため石灰質肥料を散布します。また、肥沃な圃場を好むため堆肥を十分に施用しましょう。地温確保のためのマルチングも有効な栽培方法です。



**肥料**

肥料食いですが、肥料の遅効きには注意しましょう。通常1つの節に1果実りますが、



**播種、定植**

直播でも栽培可能です。トウモロコシは風の力を借りて受粉を行ないます。また、他の株の花粉で受粉を行なうことが得意です。そのため、2列以上で「ブロック状」に植えると受粉しやすくなります。ただし、他品種を隣接して栽培すると他品種の花粉で受粉を行なってしまい、実の色や形が不揃いとなる「キセニア現象」が起こります。キセニア現象を起こさせないためには、異なる品種は30m以上離して栽培を行なうか、種まきの時期を3週間程度ずらすようにしましょう。

**病害虫**

トウモロコシ栽培の大敵は「アワノメイガ」という害虫です。茎や穂から侵入し、実を食害します。有効な対策としては、農薬による防除(テナポンなど)と雄穂を切り取る方法があります。農薬により防除を行なった場合でも可能な限り雄穂を切り取りましょう。切り取る際は必ず受粉が終わってから行ないましょう。



▶ Information お知らせ

はなみずきの会 ニュース

2/18 協力会員研修会  
「笑ってこころスッキリ体操」

介護予防運動指導士の上田里恵さんを講師に、会員17人が正しい体の動かし方を学びました。手先を使ったトレーニングや全身のストレッチ、曲に合わせたダンスなどを実施。新聞紙を破って鳴らし、丸めて握る他、棒状にしてストレッチに用いるなど、身近にあるものでできるトレーニングを行いました。



わけぎキッチンカー祭り

J A三原支店駐車場で2月28日、特産「広島わけぎ」のPRとして、わけぎキッチンカー祭りを開催しました！キッチンカー6店舗が協力し、わけぎを使ったオリジナルメニューを提供。ビンゴやスタンプラリーなどの企画も行ない、会場は家族連れなど多くの来場者で賑わいました♪

同日、やっさふれあい市場ではひなまつりフェアを開催。本郷店では女性部による甘酒の振る舞いや「広島わけぎ餃子」の試食販売を行ない、三原店では先着でぜんざいやひなあられをお渡ししました。



5月 お知らせカレンダー

※予定が変更する場合があります。ご了承ください。

【アグリセンターの休日】

三原 三原西 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原

【営業時間】

8:30~17:00

【年金相談会 開催時間】

10:00~16:00

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		三原	三原	三原	三原西				三原					年金相談会		三原							三原							三原
		三原西	三原西	本郷					三原西					年金相談会		三原西							三原西							三原西
		本郷	本郷	鷺浦					本郷					年金相談会		本郷							本郷							本郷
		久井	鷺浦	せとだ					久井					年金相談会		久井							久井							久井
		鷺浦	せとだ	竹原					鷺浦					年金相談会		鷺浦							鷺浦							鷺浦
		せとだ	竹原						せとだ					年金相談会		せとだ							せとだ							せとだ
		竹原							竹原					年金相談会		竹原							竹原							竹原